

都市再生整備計画 事後評価シート（原案）

上蓬田地区

平成24年1月

福島県平田村

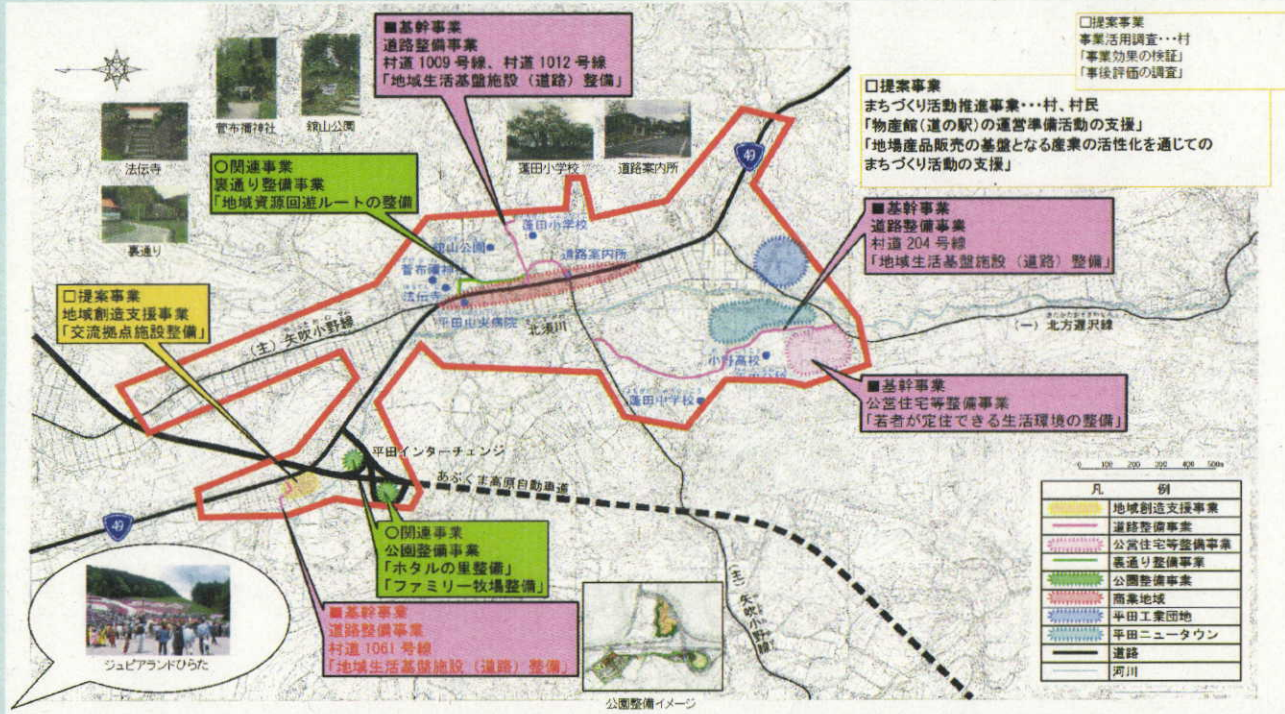
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	平田村		地区名	上蓬田地区			面積	150ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	744百万円	国費率	39.8%				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(村道三斗蔭切山線、村道山田大石線、村道揚土上宿線、村道横森線)、公営住宅等整備事業(上蓬田住宅団地)										
		提案事業	地域創造事業(観光交流センター)、事業活用調査(事業効果検証、事後評価調査)、まちづくり活動推進事業(まちづくり啓発事業)										
	事業名												
	削除/追加の理由												
削除/追加による目標、指標、数値目標への影響													
当初計画から削除した事業	基幹事業												
	提案事業												
新たに追加した事業	基幹事業												
	提案事業												
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	平田村交流人口	人	70,011	H17	95,000	H23		97,061	○	あり なし	交流拠点の整備により、情報発信機能が強化されたことは、都市再生整備計画による効果として評価できる。	H24.4
	指標2	今後の定住意向	%	55	H17	60	H23		60	○	あり なし	住環境の向上が定住意向の向上につながったものと評価できる。	H27.6
	指標3	年間商品販売額	万円/年	405,000	H14	420,000	H23		290,485	×	あり なし	交流観光センターの整備による交流拠点のにぎわい創出は見られたものの、中心商業街区への効果が見られなかった。	H25.3
	指標4										あり なし あり なし		
指標5													
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	観光交流センター村外利用者による商品販売額	万円	0	H22			15,060				観光交流来訪者拡大のための地域づくりにより、村の産業と連動した商品販売額の増加は、地域経済の活性化を示すものであり、村全体への波及効果が期待でき、評価できる。	H25.3
その他の													
その他の													
4)定性的な効果発現状況	道の駅ひらた検討委員会および平田地区地場産品振興検討会を母体とし、「ひらたミニ直売所」の社会実験により道の駅における地場産品販売の動向調査を実施した。生産農家からの意見として、地場産品のPRと販売の窓口として道の駅における地場産品の直売所設置の要望が高まり、現在は、地元生産者が中心となり、道の駅の地域振興施設の運営に従事している。あぶくま高原道路平田ICの供用に伴う平田村の玄関口としての景観整備とまちづくりにより、平田村のPRを進め、交流人口の拡大につながるものとして、住民主体による活動が行われている。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	ジュピランドひらた来場者数				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	継続し、交流人口拡大のための取組を実施する。	
	住民参加プロセス	道の駅地域振興施設(農産品直売所)の運営団体として、生産者が中心となり「直売組合生産部会」「物産組合」「直売組合加工部会」を立ち上げ、平田村の地域づくり、PRを行っている。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	交流拠点に直接住民や生産者が従事することで、平田村らしさを出し、特色のある運営を継続し、交流人口の拡大を図り広域連携を推進する。	
持続的なまちづくり体制の構築	平田IC愛護会によるまちづくりに関する取り組みの継続。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	住民参加と住民協働でのまちづくりを推進し、住民主体の地域づくりを実施し、持続可能なまちづくりを進める。		

様式2-2 地区の概要

上蓬田地区(福島県平田村) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	評価	目標値	評価	評価値	評価
住んでいる人が、誇りがもてる居住テリトリーの整備と交通環境改善による交流拠点の創造 ○若者が定住できる生活環境の整備による中心商業地域のにぎわいを再生する。 ○あぶくま高原の地域(観光)資源を活かすとともに交流施設整備による一層の交流人口拡大により地域振興を図る。 ○道路等の整備により住地域と中心商業地とのアクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。	平田村交流人口	人	70,011	H17	95,000	H23	97,061	H22
	今後の定住意向	%	55	H17	60	H23	60	H22
	年間商品販売額	万円/年	405,000	H14	420,000	H23	290,485	H22
	観光交流センター村外利用者による年間商品販売額	万円	0	H22	15,000	H23	15,060	H22
					H		H	



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの場の創出と、防災の視点から各施設・整備の機能強化が求められている。 ・まちの魅力を高めるために、地域資源を活かした住民協働のまちづくりを進める必要がある。 ・観光交流拠点と既存商業街区を徒歩でつなぐ動線の確保が求められている。 ・既存商業街区の活性化が求められている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民自らが沿道の美化活動を実施する組織づくりを行う。 ・住環境整備と雇用の場の拡充を図る。 ・地域資源のネットワークを整備し、村全体への回遊性を高め、更なる交流人口の拡大を図る。 ・産業間の連携を強化し、魅力ある地場製品をつくり、既存商業街区の活性化を図る。 ・地域コミュニティの強化を目指し、多目的に活用可能な施設整備を図る。 ・まちの地域資源を散策できるルートづくりを行う。